

10になるひとつづき 手順とルール

1~9のいずれかの数が入ったマスが、100個あります。

①タテ・ヨコ・ナナメに隣り合う複数のマスを線でひとつづき(一筆書き)につなぎ、その数字を足したら10になるようにします。

例) $2+5+2+1 \Rightarrow 10$

2	5	2	4	3
4	1	1	1	2
7	2	1	3	1
5	2	2	1	1

②10になるひとつづきを、たくさん作りましょう。ただし、一度使ったマスはもう使えません。

2	5	2	4	3
4	1	1	1	2
7	2	1	3	1
5	3	8	4	1

ひと筆なら、何回折れ曲がってもOK!

③どうしても使われずに残る「捨てマス」ができます。

2	5	2	4	3
4	1	1	1	2
7	2	1	3	1
5	3	8	4	1

最後に、残った「捨てマス」の数字をすべて合計します。

この数はいわば、ムダにしたゴミの量です。ゴミは少ない方がいいですね。

例えば、「1」を捨てるか、「9」を捨てるかで迷った場合、「1」を捨てて「9」を使った方がゴミは少なくて済みそうです。どうすれば、捨てマスを最小限にできるか考えながらやってみましょう。

その他のルール

2	8	9	6	2	1	8	5	1	3	2
7	4	8	4	1	2	4	1	2	5	9
3	5	5	2	5	3	1	3	2	1	9
4			3	5				1	6	1

マスが重複していなければひとつづきの線同士は交差してもかまいません。

隣り合わないマスはつなげられません。

枝分かれはダメです。

10 になる ひとつづき

出題

1

- ①ルールに従って複数のマス線を線でひとつづきにし、数字を足したら10になるようにしてください。
例) 2→1→2→5 (全部足すと10)
- ②なるべく多くのマスを使いましょう。
- ③最後に、使わずに残った「捨てマス」の数字を合計してゴミの数を出します。ゴミは少ない方が好成績です。

6	2	2	1	1	5	4	1	3	9
8	1	2	6	8	6	3	2	2	1
4	4	2	2	4	2	1	1	6	2
2	3	1	3	4	7	2	2	5	1
3	1	6	3	4	1	5	3	9	7
6	4	2	8	3	1	7	3	2	2
2	8	9	3	3	4	1	4	7	1
2	5	2	1	9	3	2	2	9	6
3	1	2	2	4	7	7	8	2	2
4	4	4	2	6	7	1	6	4	5

使わずに残ったマスの数字をぜんぶ足した合計 ⇒
※少ない方が好成績

10 になる ひとつづき

出題 2

- ①ルールに従って複数のマスでひとつづきにし、数字を足したら10になるようにしてください。
例) 2→1→2→5 (全部足すと10)
- ②なるべく多くのマスを使いましょう。
- ③最後に、使わずに残った「捨てマス」の数字を合計してゴミの数を出します。ゴミは少ない方が好成績です。

6	3	2	1	1	4	5	1	3	7
3	4	1	9	7	4	1	2	1	4
5	1	8	2	1	4	2	4	2	2
4	2	3	2	7	6	4	4	2	3
3	3	1	2	3	9	5	1	5	7
3	3	2	9	3	3	9	5	4	5
4	6	9	3	4	9	1	3	1	6
1	2	2	3	8	4	8	7	8	2
3	4	2	1	8	4	6	8	1	1
1	1	5	2	2	6	4	1	3	9

使わずに残ったマスの数字をぜんぶ足した合計 ⇒
※少ない方が好成績

10 になる ひとつづき

出題 **3**

①ルールに従って複数のマスで線をひとつづきにし、数字を足したら10になるようにしてください。

例) 2→1→2→5 (全部足すと10)

②なるべく多くのマスを使いましょう。

③最後に、使わずに残った「捨てマス」の数字を合計してゴミの数を出します。ゴミは少ない方が好成績です。

6	8	2	5	2	8	4	2	2	8
7	4	3	6	9	8	4	4	1	5
2	6	2	1	4	1	1	4	4	1
3	4	1	2	3	7	5	4	3	1
2	2	3	4	1	5	7	1	4	4
2	4	4	4	2	3	2	5	4	4
4	5	4	3	3	5	6	5	4	6
1	2	2	6	9	1	6	8	3	2
5	5	5	3	7	7	4	9	2	3
3	1	4	1	6	5	4	6	4	7

使わずに残ったマスの数字をぜんぶ足した合計 ⇒
※少ない方が好成績